

授業科目	生理学Ⅲ				
担当者	田坂厚志（実務経験者）・牧之瀬一博（実務経験者）・相原一貴（実務経験者）				（オムニバス）
実務経験者の概要	田坂厚志（理学療法士として、病院や介護保健施設などで実務経験あり） 牧之瀬一博（理学療法士として医療施設、通所リハ、訪問リハなどで実務経験あり） 相原一貴（理学療法士として、病院や介護保健施設などで実務経験あり）				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	選択

■ 内 容

本科目では1年次科目である「生理学Ⅰ」「生理学Ⅱ」で学んだ内容を基盤として、リハビリテーションを実践する際に必要となる知識を重点的に学習し、理解を深めます。

■ 到達目標

1. 身体を動かす際の中枢神経の働き（生理）について理解する。
2. 身体を動かす際の末梢神経と効果器（筋）の働き（生理）について理解する。
3. 感覚の生理学的働きや、身体運動との関係について理解する。
4. 身体運動と呼吸・循環・代謝機能の働きについて理解する。

■ 授業計画

- 第1回 中枢神経1
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第2回 中枢神経2
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第3回 中枢神経3
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第4回 筋肉と末梢神経1
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第5回 筋肉と末梢神経2
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第6回 末梢神経（脳神経と自律神経）
牧之瀬一博（実務経験者）
- 第7回 感覚器と感覚
相原一貴（実務経験者）
- 第8回 腎臓
相原一貴（実務経験者）
- 第9回 循環器1
田坂厚志（実務経験者）
- 第10回 循環器2
田坂厚志（実務経験者）
- 第11回 循環器3
田坂厚志（実務経験者）
- 第12回 呼吸器1
田坂厚志（実務経験者）
- 第13回 呼吸器2
田坂厚志（実務経験者）
- 第14回 代謝
田坂厚志（実務経験者）
- 第15回 まとめ

■ 評価方法

(田 坂)【科目試験(筆記試験) 30%】小テスト及び提出課題10%

(牧之瀬)【科目試験(筆記試験) 30%】小テスト及び提出課題10%

(相 原)【科目試験(筆記試験) 20%】

正当な理由の無い欠席(-4点)、遅刻(-2点)は減点対象とする。事前連絡及び大学への出席後速やかに届けを提出すれば減点を緩和する。

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

「生理学Ⅰ」「生理学Ⅱ」で学習した内容を復習すること。

小テストに向けた学修や提出課題に真摯に取り組むこと。

■ 教科書

書名: 標準理学療法学・作業療法学 専門分野 生理学(第4)

著者名: 岡田 隆夫・長岡 正範

出版社: 医学書院

■ 参考図書

■ 留意事項

欠席した場合には必ず担当教員を訪ね、講義資料を受け取ること。

■ 講義受講にあたって

2年次後期から学ぶ評価学や治療学を理解するための基礎となる生理学を本講義でしっかりと学修する。